

# 6月3日 (土)

午後1時30分～4時30分 **資料代1000円**

場所：港区立産業振興センター・ホール小

東京都港区芝 5-36-4 札の辻スクエア 11階/TEL03-3578-2558 JR 田町駅徒歩4分、都営三田線三田駅徒歩2分



※なお記念講演前「12時～13時」に**第2回総会**を行います

## 記念講演：スペイン内戦における バルセロナ空襲と 21世紀の訴訟運動

うえの たかひこ

講師 **上野 貴彦さん**

(都留文科大学文学部比較文化学科・講師)



略歴：人の移動・グローバル化と都市の関係について、南欧の事例を基点に研究。主な著書・訳書に『多様性×まちづくり インターカルチュラル・シティ』（共編著）、『亀裂 欧州国境と難民』（翻訳）など。

バルセロナ空襲は、1936年から1939年迄の第二共和政期のスペインで起こったスペイン内戦中にイタリアが行った空爆で、一般市民を標的とした大都市への世界最初期の絨毯爆撃です。1938年3月の空襲の被害は死者約1300名、負傷者約2000名と言われています。

21世紀に入った2011年の6月2日（イタリア共和国記念日）、バルセロナ空襲のスペイン国籍の被災者が、イタリア政府と空襲実行者（イタリア国籍）を相手に訴訟を起こしました。講演ではバルセロナ空襲を巡るスペイン・イタリアの複雑な政治、空襲記憶の想起や訴訟運動そして今後の諸課題などについて語っていただきます。

コメンテーター **深澤安博さん** (茨城大学名誉教授／歴史学)

主要著作：『アブドゥルカリームの恐怖 リーフ戦争とスペイン政治・社会の動揺』（論創社、2015年）  
『スペイン現代史 模索と挑戦の120年』（共著、大修館書店、1999年）  
『ドキュメント 真珠湾の日』（共編著、大月書店、1991年） など

### <ZOOMでの学習講座参加方法>

Zoomでの参加ご希望の方は、下記の当会ホームページよりお申し込みください。

<http://www.anti-bombing.net/>

主催 **NPO法人 都市無差別爆撃の原型・重慶大爆撃を語り継ぐ会** 2023.4.21

共同代表 伊香俊哉(都留文科大学教授)、前田哲男(軍事ジャーナリスト)、瀬織厚(山口大学名誉教授)  
栗遠奎(重慶爆撃犠牲者遺族)、馬蘭(成都爆撃犠牲者遺族)、雷時仁(梁山爆撃犠牲者遺族)

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-21-5 一瀬法律事務所 TEL03-3501-5558, FAX03-3501-5565  
E-mail: info@ichinoselaw.com Webサイト <http://www.anti-bombing.net> ブログ <http://blog.goo.ne.jp/dublin-ki>  
▼郵便振替口座 口座番号：00190-5-728232 口座名：NPO法人重慶大爆撃を語り継ぐ会